

募集

事業所における

「提案型補助金」を公募します

▶問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

親が子どもと向き合う時間を持てるよう、社会全体で子育て家庭をサポートできるように、事業所の子育て支援の推進に向けて、提案型補助金を創設しました。

対象

市内に事業所を有する事業者 ※市税を滞納していないことが条件です。

提案内容

市民向けの子育て支援への取り組み、または職場の子育て支援環境の整備にかかる取り組み

(例) 店舗内で貸し出すベビーカーの購入やバリアフリー化のためのスロープなどの設置、事業所の就業規則の改正(短時間勤務や育休制度の改善) など

補助金額

1件当たり上限10万円 (ただし、食糧費は除く)

※10万円以下の場合、実際にかかった経費を補助します。

公募期間

10月30日(金)午後5時まで ※当日の消印有効です。

その他

審査は「三豊市事業所内子育て支援環境整備推進事業審査委員会」で行います。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

くらし

水処理課からのお知らせ

▶申し込み・問い合わせ 水処理課 ☎72-5667

10月1日は浄化槽の日

浄化槽は、家庭からの生活雑排水や水便所排水を処理し、きれいな水を河川や水路に放流するための施設です。各家庭に設置されている浄化槽の機能を正常に維持するためには、定期的な保守点検や清掃、法定検査が欠かせません。

市では「水と緑の美しいまちづくり事業」として浄化槽法で義務付けられている次の3項目に係る経費の一部を助成しています。

①保守点検

浄化槽の装置が正しく働いているか点検し、清掃の時期の判定や消毒剤の補充を行います。4カ月に1回以上受けましょう。

②清掃

浄化槽内の汚泥などの引き出しや装置の洗浄を1年に1回以上行う必要があります。

③法定検査

浄化槽の処理水の水质を検査し、機能が正常かどうかを確認します。設置後3カ月を経過してから5カ月以内に受ける7条検査と、その後1年に1回受ける11条検査があります。検査は、県の指定検査機関である公益社団法人香川県浄化槽協会が行います。

合併処理浄化槽維持管理費補助金

市内に設置されている専用住宅

の合併処理浄化槽(20人槽以下)に対して、保守点検、清掃、法定検査を同一年度を実施した人

補助金額 30,000円

必要書類

- ・補助金交付申請書(水処理課、環境衛生課、各支所にあります)
- ・保守点検、清掃および11条法定検査の領収書
- ・11条法定検査結果書の写し(「不適正」でないもの)

提出先

水処理課、環境衛生課、各支所

注意事項

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに実施した人は、平成28年3月31日(木)までに申請してください。

集落排水施設の世帯人数に

変更はありませんか

集落排水施設の月額使用料は、基本使用料と世帯人数で定められています。世帯人数に変更があった場合は、使用人員変更届の提出が必要です。印鑑を持って、水処理課、環境衛生課、各支所で手続きをしてください。

集落排水施設が設置されているのは、高瀬町(上高瀬第一地区)、三野町(大見地区)、詫間町(大浜、濁・満、上新田地区)、仁尾町(北草木地区)です。

少年育成センター

危ない！自転車の危険行為

自転車のルール違反による自転車(死亡)事故が多発しています。自転車のルール違反は、周囲の車や歩行者に迷惑をかけるだけでなく、利用している人自身の生命にもかかわる大変危険な行為です。

市内で見かける危険な違反行為

市内を巡回中、危険な自転車の乗り方をしてる人を見かけたときは、その場で注意を促しています。

危険行為として挙げられるのは、次のような、適切な運転操作を怠っている場合です。

- ・スマートフォンなどを使用しながらの運転
- ・雨天時、傘を差しながらの運転
- ・二人乗り
- ・自転車での並進



(横に並んで走行)

減らない自転車の危険行為

これらのは行は、道路交通法などで禁止されており、事故などの危険が生じなくても、処罰の対象となっています。特に、交通事故など、交通の危険を招いた場合には、安全運転義務違反が適用され、違反(危険)行為とみなされることがあります。

命の重さを受け止めて

市内でも、中学生・高校生の危険行為によって、自転車の事故が起きています。

加害者にも被害者にもなってはいけません。命の重さを知り受け止め、危機意識を持ってください。特に、自転車を利用している中学生・高校生がいる家庭では、もう一度自転車の正しい乗り方について話し合ってみてはいかがでしょうか。

▼問い合わせ

少年育成センター ☎62・1115

まちづくり推進隊 Part.3

『まちづくり推進隊高瀬』

現在の会員数は142名。「安全安心・防災」や「健康・福祉」「環境・保全」「地域住民親交」などを目的に、14件の自主事業を実施しています。

これらの活動を多くの人に知ってもらおうとともに、町を元気にしようとして「第1回まちづくり若者&地域交流研修」を開催。町内の2つの高校から20人の生徒と、推進隊高瀬の会員22人の合計42人が参加しました。



▲地域みんなが一致団結!



▲活発な意見交換が行われました

活動の前半は、高校生から見た地域の良さや課題についてグループ討議を行いました。参加者からは「地元で進学・就職したい。地元を農業の生産・販売の流通拠点にした」とか「空気がきれいに住み良い町といわれているが、交通マナーは悪い。まずは大人が見本となる必要がある」と、グループごとに意見をまとめ全体発表をしました。

後半では、切り出しナイフを用いて竹の「器」と「箸」づくりに挑戦。地域の先輩からコツを教してもらいながら、丁寧に仕上げた後は、高瀬茶を使った「茶そば流し」を行い、世代間の親睦を深めました。

推進隊高瀬では、引き続き多くの皆さんの参加をお待ちしています。お気軽に、事務所へお立ち寄りください。

▼問い合わせ

まちづくり推進隊高瀬 ☎73・3410